

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2026年5月下旬刊行

私がみた戦時下の中国・台湾

—ひとりの少年が体験した帝国日本の外縁—

永滝 勇 著、永滝 稔 編

解題：久保 亨

(元・信州大学教授、中国近現代史専攻)

四六判・ブックレット 136 ページ 本体価格 1,800 円+税

ひとりの少年がみた日中戦争・アジア太平洋戦争下の中国・台湾の光景とそこに生きる人びと。戦時下にあった帝国日本外縁の様相を実際に経験した著者が残した貴重な記録。

【目次】

第一章 満洲から中国大陸を転々と

父の満鉄就職/アカシアの大連での生活/旅順への小旅行/父の華北電電への転職、そして開封へ/日本軍兵士たちと出遭う/
銃撃戦の洗礼を浴びる/銃撃戦の洗礼を浴びる/開封での生活(その1)/開封での生活(その2)/父のピンタ/天津へ/命びろいをする/
南京へ向かう/上海での生活の始まり/あつという間に終わった上海での生活/久しぶりの日本、しかしすぐに台湾へ

第二章 台湾の日々

台湾へ向かう/台北での生活の始まり/台北の中心街への引っ越し・転校/台北空襲と伯母の帰国/「特攻隊だけはいかん!」/
後藤先生/台湾空襲/台湾空襲のあとの疎開/敗戦の日

第三章 敗戦後から引き揚げへ

敗戦直後の台北/つらかった学校生活/往復ピンタをくらう/引き揚げが始まる/さらば台湾よ/日本の土を踏む/久しぶりの我が家

解題…久保 亨 (元・信州大学教授)

〈著者紹介〉永滝 勇 (ながたき いさむ)：1933 年生まれ、日本証券金融株式会社勤務を経て、有志舎取締役。2022 年死去

～版元から～ 日中戦争からアジア太平洋戦争の時代、国策会社である満鉄・華北電電・中華航空の通信技士だった父に連れられて中国大陸と台湾を転々とした一人の少年がいました。アカシアの街・大連から最前線の街・開封へ、さらに大都市の天津から国際都市・上海、そして海を渡り台湾へ。彼がそこでみた光景と出会った人々、そしてそのなかで感じ、思ったことはどのようなものだったのでしょうか。戦時下にあった「外地」＝帝国日本外縁の様相を実際に経験した著者が描いた貴重な回想の記録です。

中国近現代史研究者の久保亨(元・信州大学教授)による詳細な解題も付します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	私がみた戦時下の中国・台湾 —ひとりの少年が体験した帝国日本の外縁— 永滝 勇 著、永滝 稔 編、解題：久保 亨	日本史 アジア史 (近現代)
	ご担当	四六判・ブックレット、136ページ 本体価格 1,800 円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN978-4-908672-89-7 C1021	

ご注文は (株) JRC へ

返品条件付注文です。

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230